

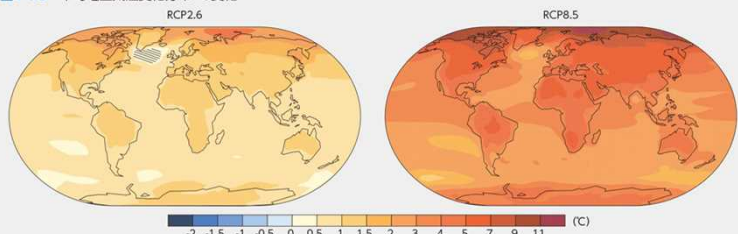
# 第五次環境基本計画の 方向性について（案）

2017年12月  
中央環境審議会  
総合政策部会事務局



# 我が国が抱える環境・経済・社会の課題

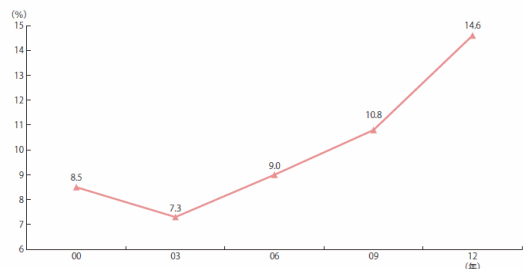
図1-1-3 平均地上気温変化分布<sup>※</sup>の変化



※：1986～2005年平均と2081～2100年平均の差  
資料：IPCC「第5次評価報告書統合報告書政策決定者要約」より環境省作成

平均地上気温変化分布の変化 (H29環境白書より)

第2-2-18 商店街の空き店舗率の推移



資料：中小企業が委託「平成24年除塵店街実態調査報告書」(2012年11月、(株)アストジェイ)  
(注) 空き店舗率=空き店舗数÷店舗数

商店街の空き店舗率の推移  
(中企庁HPより)

## 経済の課題

- 地域経済の疲弊
- 新興国との国際競争
- AI、IoT等の技術革新への対応など

## 環境の課題

- 温室効果ガスの大幅排出削減
- 資源の有効利用
- 森林・里地里山の荒廃、野生鳥獣被害
- 生物多様性の保全 など



ニホンジカによる被害  
(環境省HPより)

## 相互に関連・複雑化



資料：2010年以前は総務省「国勢調査」、同「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長時系列分析」(1974年)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2012年1月推計)より国土交通省作成

我が国人口の長期的推移  
(国交省HPより)

## 社会の課題

- 少子高齢化・人口減少
- 働き方改革
- 巨大災害への備え など



H29年7月九州北部豪雨  
(国交省HPより)

環境・経済・社会の  
統合的向上が求められる!



人工知能のイメージ  
(産総研HPより)

# 持続可能な社会に向けた国際的な潮流

- 2015年9月に「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」（複数の課題の統合的解決を目指す**SDGs**を含む）が採択。
- 2015年12月に「**パリ協定**」（2℃目標達成のため、21世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目的）が採択。
- これらの目標を達成するためには、これまでの対策の延長ではなく、**環境・経済・社会をとともに変えていき、持続可能な社会を目指す**ことが必要。

「持続可能な開発のための2030アジェンダの  
持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴール

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標



(資料:国連広報センター)

パリ協定の採択(2015年12月、フランス・パリ)



(写真:気候変動枠組条約事務局)

# 第五次環境基本計画の基本的方向性

## 目指すべきもの

1. 「**地域循環共生圏**」の創造。  
(自立・分散型の社会、地域どうしの支え合い)
2. 「**世界の範となる日本**」の確立。  
(①公害を克服した**歴史**、②高い**環境技術**、  
③「もったいない」などの**循環**の精神や  
自然と**共生**する伝統を有する我が国だからこそ  
できることがある)
3. これらを通じた、真に持続可能な「**循環共生型社会**」(いわば「**環境・生命文明社会**」)の実現。



## 地域循環共生圏

各地域がその特性を生かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて補完し支え合う

## 取り組むべきこと

1. SDGsの考え方を活用し、**環境・経済・社会の統合的向上を具体化**。  
(環境政策を契機として、我が国が抱える**経済、地域、国際などの諸課題の同時解決**を図り、**中長期的な成長**につなげていくため、分野横断的な6つの重点戦略を設定)
2. あらゆる**関係者と連携**。  
(環境・経済・社会の統合的向上を達成するためには、**経済・社会の関係者ともパートナーシップを充実・強化させる**ことが必要)
3. **地方部の地域資源を持続可能な形で最大限活用**し、**経済・社会活動を向上**。  
(地方部の維持・発展にもフォーカス。**環境で地方を元気に!**)

# 第五次環境基本計画における施策の展開の方向性

- 我が国が抱える環境・経済・社会の課題や国際的な潮流を踏まえ、**6つの重点戦略を設定**。
- **パートナーシップ**（各主体との連携）の下、環境・経済・社会の**統合的向上を具体化**。
- 社会システム・ライフスタイル・技術といったあらゆる「**イノベーションの創出**」を目指す。

## 6つの重点戦略の概要（検討中の骨子）

### ① 持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築

- **環境ビジネス**を我が国経済の牽引力となるよう育成
- **国内資源の最大限の活用**による国際収支の改善・産業競争力の強化
- **金融・税制**等を活用した経済システムのグリーン化



洋上風力発電施設  
(H28環境白書より)

### ② 国土のストックとしての価値の向上

- 市街地のコンパクト化等、**持続可能で魅力あるまちづくり**
- 自然資本の維持等、**自然との共生を軸**とした国土の多様性の維持
- **自然環境が持つ多様な機能を活用**したレジリエンスの向上



土砂崩壊防備保安林  
(環境省HPより)

### ③ 地域資源を活用した持続可能な地域づくり

- 地域資源の最大限の活用により**環境配慮型の投資・消費を活発化**
- 都市と農山漁村等、地域が相互に交流する**広域ネットワークづくり**



バイオマス発電所  
(H29環境白書より)

### ④ 健康で心豊かな暮らしの実現

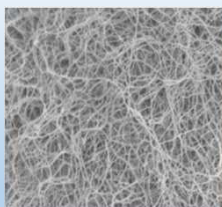
- 森里川海を中核とした人・自然がつながる**ライフスタイル・イノベーションの推進**
- 環境にやさしく健康で**質の高い生活への転換**
- 安全・安心な暮らしの基盤となる水・大気など**良好な環境の保全**



森里川海のつながり  
(環境省HPより)

### ⑤ 持続可能性を支える技術の開発・普及

- 持続可能な社会の実現を支える**最先端技術の開発**
- **生物・自然の摂理**を応用する技術の開発
- **社会実装**の推進



セルロースナノファイバー  
(H29環境白書より)

### ⑥ 国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築

- 国際的なルール作りへの**積極的関与・貢献**
- 「**課題解決先進国**」として海外における「**持続可能な社会**」の構築支援



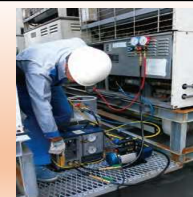
日本の開発協力  
(2016年版開発協力白書より)

# 重点戦略を支える環境政策（検討中の骨子）

環境政策の根幹となる環境保全の取組は、揺るぎなく着実に推進

## ○気候変動対策

パリ協定を踏まえ、地球温暖化対策計画に掲げられた各種施策等を実施  
気候変動の影響への適応計画に掲げられた各種施策を実施



フロンガス回収  
(環境省HPより)

## ○循環型社会の形成

循環型社会形成推進基本計画に掲げられた各種施策を実施



廃棄物分別作業  
(環境省HPより)

## ○生物多様性の確保・自然共生

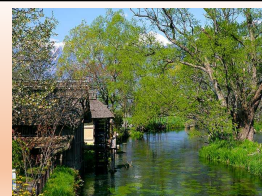
生物多様性国家戦略2012-2020に掲げられた各種施策を実施



絶滅危惧種  
(イタセンパラ)

## ○環境リスクの管理等の基盤的な施策

水・大気・土壌の環境保全、化学物質管理、環境保健対策、環境影響評価、  
環境研究・技術開発、環境教育・環境学習、環境情報 等



水環境保全  
(環境省HPより)

## ○東日本大震災からの復興・創生及び今後の大規模災害発災時の対応

中間貯蔵施設の整備等、帰還困難区域における特定復興再生拠点の整備、  
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策、資源循環を通じた被災地の復興、  
災害廃棄物の処理、大気環境対策 等



中間貯蔵施設  
土壌貯蔵施設

## 計画の効果的実施

- ・ 国及び各主体による取組の推進、計画の点検・指標の活用、計画の見直しについて記載。
- ・ 重点戦略に係る点検は、優良事例のヒアリングを中心に実施。

## 環境保全施策の体系

- ・ 環境保全施策の全体像を把握できるように構成。